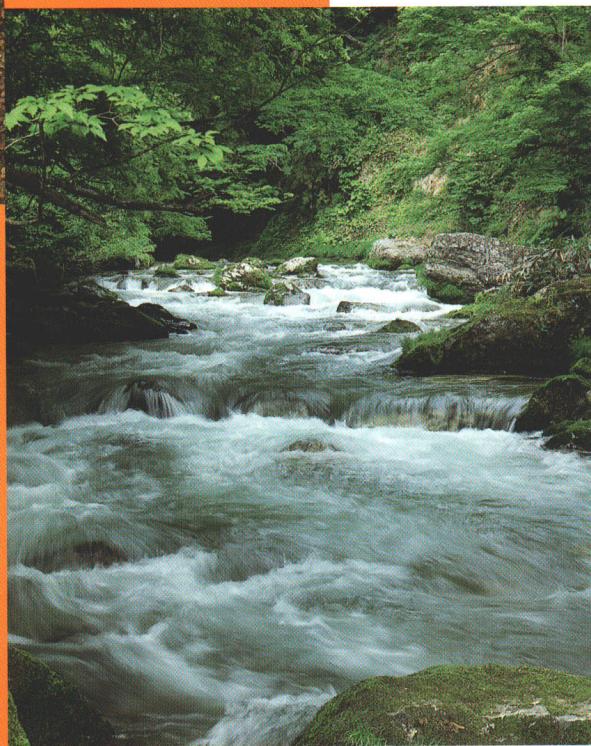


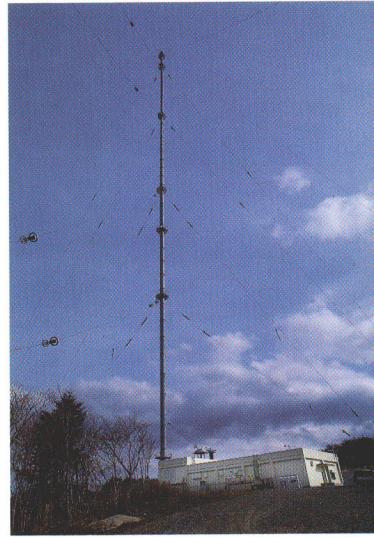


■いわなの生息地「千翁川」

県道小野・富岡線の大根森地区から林道に入ると、そこにある平伏沼の案内板の手前の川が千翁川です。いわなの多い川で、川沿いに道路が整備された箇所もあります。渓流釣りのポイント移動もスムーズに行えます。上流へ進むと二つに分かれますが、右が千翁川で左が平伏沼へと続きます。

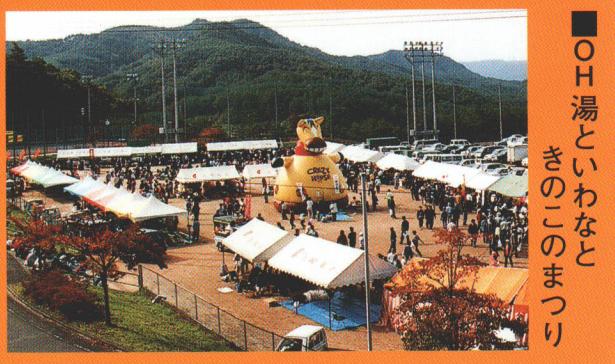


平成二年六月一〇日より、全国に正確な標準時を発信するために独立行政法人通信総合研究所が都路村と川内村の境界の大鷹鳥谷山（おおたかどやま）山頂付近に建設運用開始されました。ここから送られる周波数は、日本全国の電波時計や無線機器や計測装置などの基準となる周波数転正、天体観測の時刻記録や地震計の時刻合わせなど様々な時刻受信機器に利用されています。

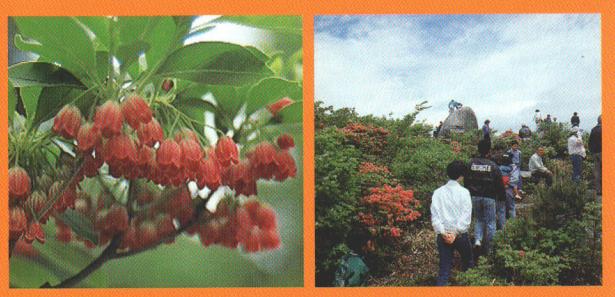


おおたかどや山標準電波送信所

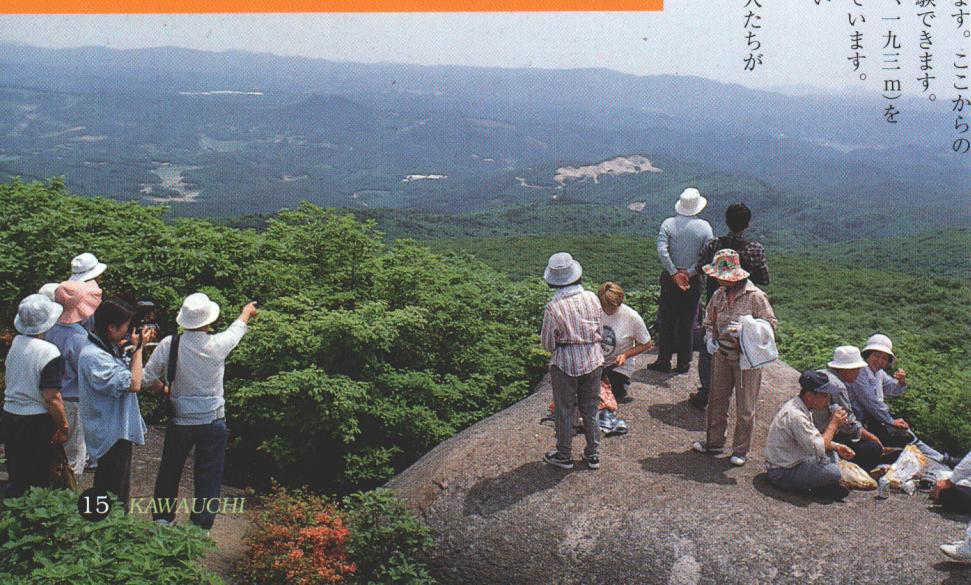
川内村役場から南東へ二〇〇mの距離にあります。アルカリ度が高く、肌がつるつるとなることから「美人の湯」ともいわれています。施設内の温泉種類も多くつるげる温泉施設です。



高原のいで湯 「かわうちの湯」



高塚高原はサラサドウダンをはじめ、アセビ、リョウブ、コヨウラクツツジ、アブラツツジなどの低木林でおわれています。初夏の山開きには、これらの花が山一面に咲き始めます。そして秋の紅葉は錦絵のような艶やかな山の姿を見る事ができます。これらの林の中は遊歩道が整備され、大きく二つのコースになっています。頂上までは約三〇分のコースです。山頂には「ペラペラ石」をはじめ多くの巨石があります。ここからの眺めは三六〇度大パノラマが体験できます。阿武隈高地最高峰の大滝根山（一、一九三四）を西に見て、東に川内村が広がっています。高塚高原には都会では味わえない本物の自然が残されていて、初夏から秋を通じてたくさんの人たちが訪れるこの景色を楽しんでいます。



村花サラサドウダンの名所「高塚高原」